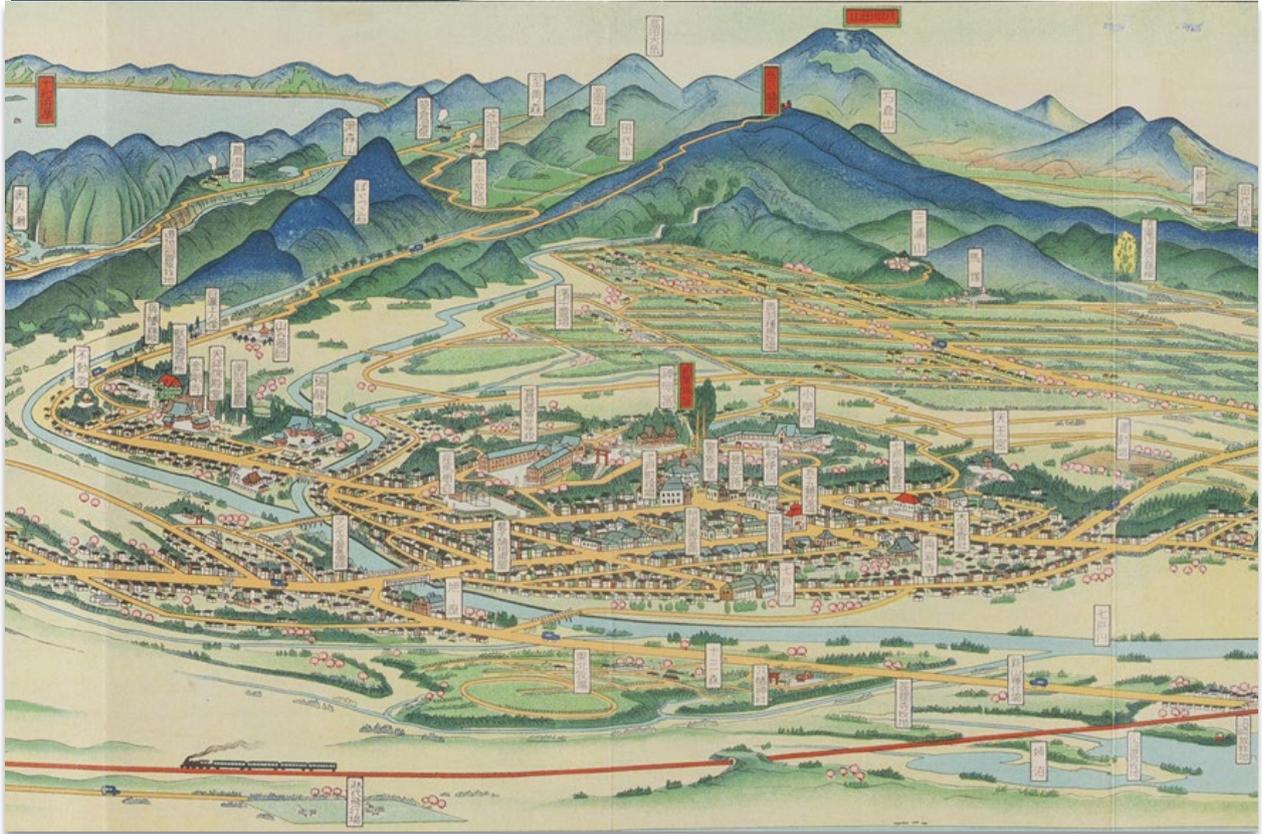


県立図書館だより

令和6年2月

青森県立図書館報 第48号

デジタルアーカイブから



『馬のみやこ七戸町 [七戸町鳥瞰図]』 1934 (部分)

(https://da.plib.pref.aomori.lg.jp/archives/detail?cls=collect_01&pkey=10203122770)

大正から昭和にかけて、生涯に1600枚を超えるといわれる鳥瞰図を描き「大正の広重」と呼ばれた吉田初三郎(1884-1955)による七戸町鳥瞰図。

町役場を中心とした地方の街並みを描きながら、周囲に馬の名産地・七戸町の特徴である緑の牧場を描くことで「馬のみやこ」が表現されている。

目 次

デジタルアーカイブから	1
あおもりの寒い冬、読書してすごしませんか	2
参考・郷土室からのおしらせ	3
ご存じですか？この人・この資料～郷土資料の紹介～	4
ようこそ文学館へ！近代文学館資料の紹介	5
カウンターからひとこと	6
県立図書館の利用案内	7



あおもりの寒い冬、読書してすごしませんか



まだまだ寒い季節が続きます。青森県読書推進運動協議会（事務局：県立図書館）が取り組む「あおもり冬の読書週間（1/6～1/26）」をきっかけに、公共図書館、学校図書館、書店でお気に入りの本を探して、読書しながら心温かく寒い冬を過ごしてみたいかがでしよう。きっと、新たな発見や本の不思議な力に出会えるはずですよ。

○「あおもり冬の読書週間」

平成21年度から続く、青森の冬の過ごし方として読書を推奨する取組（小寒から大寒を挟んで3週間）

○関連イベント

県内図書館等一斉展示

「ウチの推し本」展

県立図書館をはじめ県内各市町村の図書館等において、「ウチの推し本」を共通テーマとする展示を一斉に開催しています。



最新情報は当館ホームページをご確認ください。



QRを読み込んでみてね！



令和5年度 ポスターイラスト：瀬川 砂子氏

参考・郷土室からのお知らせ

データベースを使ってみよう！



今回ご紹介するのは、館内で調べものにご利用いただけるデータベースです。ご利用の際はカウンターでお申込みください。

【新聞（地元紙）】

- ◇ 『東奥日報』 CD-ROM/DVD-ROM 版（東奥日報社）
 - 平成17年9月～ ※月ごとに CD-ROM/DVD-ROM へ収録
- ◇ 『デーリー東北』ブルーレイディスク版（デーリー東北新聞社）
 - 昭和20年12月15日～平成28年12月31日 ※数年ごとに BD へ収録
 - ※キーワード検索機能はありません

【新聞（全国紙）】

- ◇ 『朝日新聞』 「朝日新聞クロスサーチ」 （朝日新聞社）
 - 全国版：明治12年1月（創刊号）～
 - 青森版：平成9年1月～ ○雑誌「AERA」「週刊朝日」も収録
- ◇ 『毎日新聞』 「毎索」 （毎日新聞社）
 - 全国版：明治5年4月（創刊号）～
 - 青森版：平成10年8月～ ○雑誌「週刊エコノミスト」も収録
- ◇ 『読売新聞』 「ヨミダス」 （読売新聞社）
 - 全国版：明治7年11月（創刊号）～
 - 青森版：平成11年9月～ ○英字新聞「The Japan News」も収録

【法律など】

- ◇ 「官報情報検索サービス」 （国立印刷局）
 - 昭和22年5月3日（日本国憲法施行日）～
- ◇ 「DI-Law.com」 （第一法規株式会社）
 - 現行法規、判例体系、法律判例文献情報

【農業】

- ◇ 「ルーラル電子図書館」 （一般社団法人農山漁村文化協会）
 - 農文協が発行した雑誌・書籍・事典・ビデオなど

このほか、「調べものに役立つリンク集」を当館ホームページで公開していますので、ぜひご活用ください。

(<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/reference/pathfinder/index.html>)





2024年、青森を舞台にした映画「じょっぱり看護の人花田ミキ」の公開が予定されています。今回は、生涯を看護に捧げ、戦争の時代を生きた花田ミキさんをご紹介します。

花田さんは1914(大正3)年、現在の弘前市に生まれました。盛岡赤十字看護婦養成所を卒業したのは20歳だった1934(昭和9)年。すぐに日本赤十字社青森県支部で勤務し、1937(昭和12)年、日中戦争で従軍看護婦として召集されました。青森発の奥羽線列車で出征し、福岡県久留米に到着。そこから傷病兵

を運ぶ病院船に乗船し、船酔いや伝染病の脅威の中、運び込まれた兵士を看病します。しかし、看病の甲斐なく次々に死んでゆく兵士を目にしました。1939(昭和14)年8月に青森に帰着するも、9月に二度目の召集となります。中国河北省の陸軍病院でした。容体が回復すると、すぐ戦場に帰っていく兵士を見送る悲しみと矛盾にゆすぶられたのは、敗戦後であったと振り返っています。

三度目の召集は1941(昭和16)年。婦長として再び病院船に乗船しますが、翌年、自身がチフスに罹り、広島陸軍病院に入院。病院船に戻っても体調が思わしくなく、1943(昭和18)年に召集解除となります。しかし、戦況は体調のことなど待ってはくれず、1944(昭和19)年に創立間もない八戸赤十字病院への要請を受け、看護婦養成所婦長として赴任。1945(昭和20)年に八戸鮫港でも海防艦が撃沈された時は、傷病兵の防空壕収容を養成所の生徒たちとともに手伝いました。その後まもなく日本は終戦を迎えます。

戦後、アメリカ式の新しい看護を吸収した花田さんは、県内のポリオ根絶に奔走。県職員となり、県立青森高等看護学院(現青森県立保健大学)の創立、結核対策、へき地看護の充実、もったところすな運動(乳児死亡率低減運動)にも取り組みました。

花田さんは、生涯、自分も戦争の加害者のひとりという思いが消えず、戦中の使命と葛藤と矛盾を若い世代に伝えるため、その戦争体験を数多くの資料に残してくれました。映画鑑賞とともに、ぜひ読んでみてください。

【参考文献】

『花田ミキという生き方』(松岡裕枝著 東奥日報社 2010.4)

『鎮魂のうた』(花田ミキ著 花田ミキ 2001.2)

『巻きもどすフィルム』(花田ミキ著 花田ミキ 1985.11)



チフス罹患時、「生きたい」と思わせてくれたくちなしの花

今回ご紹介した資料は、いずれも貸出が可能です。どうぞご利用ください。

青森県立図書館では、青森県に関する資料や青森県内で刊行された資料、青森県在住者・出身者の著作物等を郷土資料として積極的に収集し、永く保存するとともに、県内外の皆様幅広くご利用いただいております。

ようこそ文学館へ！

近代文学館資料の紹介(第47回)

令和5年度新収蔵資料展 展示資料から

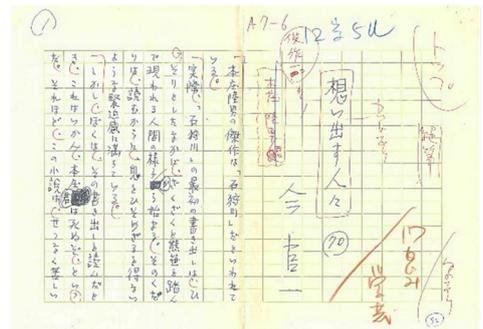
近代文学館では、令和4年度より展示ロビーで新収蔵資料展示を開催しています。特別展や企画展に比べると小規模ではありますが、新たに収蔵した資料を多くの方々に見ていただき、様々な青森県ゆかりの作家について知っていただく機会としています。今年度は「佐藤紅緑と佐藤愛子」「雨雀の言葉」「北島八穂新収蔵資料」「洋次郎の原稿」「監督・寺山修司」「今官一新収蔵資料(※開催中)」を開催しました。今回はこの新収蔵資料展示で展示した資料の中から今官一と北島八穂の原稿をご紹介します。

①今官一原稿(絶筆)「想い出す人々 本庄陸男」

青森県人として初の直木賞を受賞した今官一は、昭和54年、脳梗塞で倒れます。一時は言葉を発することもできない状態でしたが、公恵夫人の提案で弘前に帰郷し、夫人と医師の手厚い看護により徐々に回復。文章の口述ができるまになりました。昭和56年10月、官一は東奥日報で「想い出す人々」という回想交友記の連載(週に1回)を開始します。

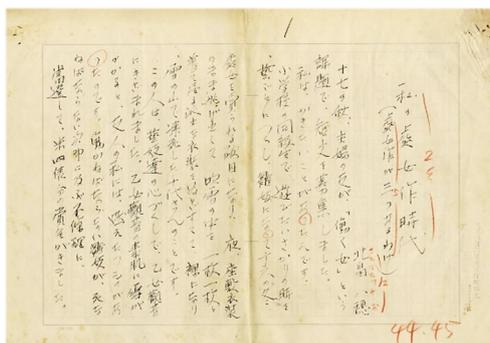
参考文献や資料は一切使わず、官一が口述した記憶を公恵夫人が筆記したもので、連載は逝去する直前の昭和58年3月までの1年半、回想に登場した人は70名に及びました。400字詰用紙4枚のこの原稿は2月20日に口述筆記されたもので、文字は公恵夫人のもので、珍しく元気な様子だった官一は約30分で口述し終え、最後に「私の原稿もこれが最終回です」と付け加えたそうです。その翌日、流行性感冒によって突然高熱を発した官一は、3月1日に73歳の生涯を終えました。

「不当な扱いを、正當に評価し、出来れば正當に是正」するために小説を書き、作品に一切の妥協を許さなかった官一が、その姿勢を最期まで貫き通した、妻と二人三脚の渾身の絶筆原稿です。



②北島八穂原稿「私の処女作時代(処女作が三つあるわけ)」

400字詰原稿用紙6枚。昭和33~34年、八穂が55歳頃に書いたものと思われます。自らの作家としての歩み、ひいては半生を振り返るような内容で、「みどり」第2巻第2号(昭和34年2月)に掲載されています。八穂が挙げた3つの処女作とは、①青森高等女学校時代に雑誌に応募した際の、亡くなった友人を題材にした作品。②改造社の懸賞小説賞に応募した際の作品。これは後に、この応募がきっかけで結婚した深田久彌名義で「津軽の野づら」として発表される作品です。原稿を見ると、この作品が「津軽の野づら」であることを一度書いたものの、後に削除していることがわかります。そのため、掲載誌には「津軽の野づら」という作品名は登場していません。



③それまで深田名義で作品を発表していた八穂が、初めて自分の名前で発表した「自在人」。自らの名前で発表したことについて、親交のあった林芙美子が八穂の元に駆けつけたことや、太宰治が「ジャッキとドッテンへした。ヤレヘネサ(とても驚いた。(存分に)おやりなさいな。)」という葉書を送ってきたことも書かれています。短いながらも、八穂の生涯が記された貴重な作品原稿と言えるでしょう。

カウンターからひとつ (第46回)



今回は、当館の蔵書検索端末機から印刷されるレシート(書誌詳細)の見方についてご紹介します。

書誌詳細

2023/10/4 県立
 タイトル: 太宰治検定・公式テキスト
 副書名: 旅をしようよ!「津軽」
 巻次: [1]
 巻の書名:
 叢書名:
 著者: 太宰治検定実行委員会テキスト編集部会/編
 出版者: おおまち第2集客施設整備推進協議会

出版年: 2009.3
 大きさ: 21cm
 資料コード: 10213254087
 所蔵場所: B15A
 資料区分: 一般図書
 帯出区分: 利用可
 請求記号: 主配架/910.268/ダザイ*オ/
 動態: 書架

資料コード: 10215591815
 所蔵場所: 集密2(XR4)
 資料区分: 郷土図書
 帯出区分: 利用可
 請求記号: 主配架/910.268/ダザイ*オ/
 動態: 貸出中

資料コード: 10215591815
 所蔵場所: 集密2(XR4)
 資料区分: 郷土図書
 帯出区分: 禁帯
 請求記号: 郷人/910.268/ダザイ*オ/
 動態: 書架

1. 「動態」に注目!

- ①「書架」→貸出できます!
- ②「貸出中」「予約待」「予回送」
→他の人が借りている本です!
カウンターで予約のお申込みをお願いします。

2. 「所蔵場所」に注目!

- ①「B15A」など、アルファベットと数字
→一般閲覧室の本棚にある本です!
- ②「参」→「参考・郷土室」にある本です!
- ③「児」→「児童閲覧室」にある本です!
- ④「書庫」「集密」「貴重」
→閲覧室内にはありません!
レシートをカウンターにお持ちください。

3. ラベルに注目!

「請求記号: 主配架/910.268/ダザイ*オ/」
と書かれているとき、本にはこんなラベルが貼られています。

910.268
ダザイ
オ

番号順→五十音順→巻数順の順番で棚に並んでいます。

「帯出区分」が「禁帯」の本は、
館外貸出できません!
 館内閲覧のみのご利用となります。

本棚を探しても見つからないときは、他の人が読んでいたり、普段と違う棚に置かれていたりするかもしれません。なかなか見つからないときは、お気軽にカウンター職員にお声がけください!

令和5年度利用案内

● 開館時間

- 一般閲覧室、参考・郷土室 午前9時から午後7時まで
- 児童閲覧室 午前9時から午後5時まで
- 近代文学館 午前9時から午後5時まで

● 休館日

- 年末年始 令和5年12月29日から令和6年1月3日
- 特別蔵書点検期間 令和5年5月22日から5月25日まで
令和5年11月30日から12月6日まで
- 館内整理日 毎月第4木曜日(11月のみ第5木曜日)
- サービス活動点検・検討日 4月3日、奇数月第2水曜日

● 貸出点数・期間

- 1人 10点まで ※CDなどの視聴覚資料を含みます。
- 2週間 ※他の方の予約がなければ、期間の延長ができます。

● 住所・電話番号

〒030-0184 青森市荒川字藤戸119-7

- 一般閲覧室 TEL 017-729-4300
- 参考・郷土室(レファレンス) TEL 017-729-4311
FAX 017-762-1757
- 図書館事務室 TEL 017-739-4211
FAX 017-739-8353
- 企画支援課 TEL 017-739-1456
- 近代文学館 TEL 017-739-2575
- 開館時間・休館日・展示のお知らせ TEL 017-729-4111

● ホームページ

<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/>



令和5年度行事予定

● 図書館の行事

- おはなし会 第2土曜日 午後2時から2時30分まで
- おしえて先生!知るしるする探検隊 第4土曜日 午後2時から2時30分まで
(12、3月を除く)

● 近代文学館の行事

- 特別展「あおもりのえほん」 7月1日～10月9日
- 企画展「あおもり文学食堂」 12月7日～3月10日

図書館だより 第48号
令和6年2月8日発行
編集・発行 青森県立図書館